

【学校長の願い】

- 安心・安全な学校で
- 協働によって探究する授業を通して
- よりよい生き方を求め続ける子どもたち

学校教育目標

**ふるさとに学び、みんなと自己を高めながら、未来を創造しよう!**

ふ→「ありがとう」(協働性を広げる力の育成)

じ→「なぜならば」(論理性を深める力の育成)

み→「それならば」(可能性を伸ばす力の育成)

【保護者の願い】

- 基礎学力の定着
- 豊かな人間関係
- 挨拶のできる子
- 体験活動の充実

**ふるさとに学び、みんなと自己を高めながら、未来を創造しよう!**

＜重点目標＞

- 1 「なぜならば」と根拠を確かにする「授業づくり」
- 2 「それならば」と期待感がふくらむ「学級づくり」
- 3 「ありがとう」と嬉しい関係を結ぶ「活動づくり」

1 【授業づくり】

[教科の学習]

- 解決の見通しをもてる課題
- 手応えのある学び
  - ・観てわかる
  - ・訊いてわかる
  - ・具体的に考えてわかる
  - ・何度も考えを再現できる
- 発展的に考える学びの習慣

子どもが鍛える

2 【学級づくり】

[朝の会・帰りの会]

[相談タイム] [学級活動]

[特別の教科道徳]

- 個の活躍を学級創造へつなぐ
- 他者に働きかけることの心地よさの感得（自己有用感の高揚）
- 他者を受け入れる柔軟性

子どもが輝く

3 【活動づくり】

[総合的な学習の時間]

[生活科] [児童会活動]

[特別活動]

- 年齢を越えた方との交流
- 実践家や専門家と協働
- 現代的な諸課題に挑むための探究的な見方・考え方の育成

子どもがつながる

**一人一人の子どもの姿・思いから出発**

子どもの学びを観る、子どもの声を聴く、子どもの思いを感じとる

算数科の教材研究（算数 Basic）の視点

- 「もとになる考え方」の発展的・統合的な活用
- 総合的な学習の時間との教科等横断的な学習(情報通信技術 ICT を学びのツールに)
- 指導と3つの資質・能力の評価の一体化
- 人権を尊重し実践できる態度の育成

体験→対話→振り返り→関係づけ→活用

総合的な学習の時間の教材研究の視点

- 「もとになる考え方」の発展的・統合的な活用
- 他教科等との教科等横断的な学習(情報通信技術 ICT を学びのツールに)
- 指導と3つの資質・能力の評価の一体化
- 人権を尊重し実践できる態度の育成

体験→対話→振り返り→関係づけ→活用

- 1 生きて働く「知識・技能」
- 2 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」
- 3 学びを人生や社会に生かそうとする「主体的に学習に取り組む態度」